

カリキュラム・マップ (法学 研究科 法律学 専攻) 博士前期課程	
教育研究上の目的	
学問的探求に基づき、法学及び政治学・政策学に関する高度な専門知識並びに法実務上・法政策上の素養を修得させることによって、知的素養と研究能力を身に付けた人材、法化社会の要請に応える専門職業人及び公益の実現に携わる職業人を養成することを目的とする。	
ディプロマ・ポリシー (学位授与方針)	
DP1	法律学についての高度で体系的な専門知識と学問的な分析能力を修得している (専門知識)
DP2	問題の所在を探求し、説得力ある議論を展開できる (汎用的技能)
DP3	高い公共意識をもって、法律学に関する領域の多様な問題に積極的に取り組むことができる (態度・志向性)

授業科目表【2022 (令和4) 年度】						測定方法		
授業科目名	単位数	配当年次	資質・能力				測定方法	
			DP1	DP2	DP3			
<small>◎ 学習効果を上げるために履修することが特に強く求められている科目 ○ 学習効果を上げるために履修することが強く求められている科目</small>								
専門教育科目						直接評価	間接評価	
法哲学特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	本年度休講
法哲学特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	本年度休講
日本近現代法史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
西洋法制史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	本年度休講
東洋法制史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
東洋法制史特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
法社会学特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
法社会史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
法女性学特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
アメリカ法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
英文契約書作成演習	2	1	◎	○	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
憲法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
憲法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
行政法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
行政法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
民法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
民法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
商法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
商法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
刑法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
刑法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
民事訴訟法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
民事訴訟法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
刑事訴訟法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
刑事訴訟法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
労働法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
社会保障法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
社会保障法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
社会保障政策特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
税法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
税法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
国際租税法特論	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
租税手続法特論	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
租税法政策特論	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
国際法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
国際法特論演習A・B	2	1	○	◎	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
国際私法特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
日本政治史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
西洋政治史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	本年度休講
東洋政治史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
政治思想史特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
政治過程論特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
政治機構論特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
行政学特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
地方自治論特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
社会安全政策特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
治安政策論特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
外交政策特論A・B	2	1	◎	○	○	専門的な知識の修得を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	本年度休講
インターンシップ	2	1		○	◎	専門的な知識の応用力を問う形式の成績評価	受講生に対するアンケート	
在外研究指導 I	4	1	○	◎	◎	研究計画の進捗状況の評価	受講生に対するアンケート	
在外研究指導 II	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況の評価	受講生に対するアンケート	
研究指導A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況の評価	受講生に対するアンケート	
研究指導B	4	2	○	◎	◎	修士論文・特定課題研究成果報告書の評価	受講生に対するアンケート	

カリキュラム・マップ（法学 研究科 法律学 専攻）博士後期課程							
教育研究上の目的							
学問的探求に基づき、法学及び政治学・政策学に関するきわめて高度な専門知識並びに法実務上・法政策上の十分な素養を修得させることによって、国内外で活躍しうる優秀な研究者及び法化社会を主体的に担いうる専門職業人及び公益の実現に携わる専門職業人を養成することを目的とする。							
ディプロマ・ポリシー（学位授与方針）							
DP1	法律学・政治学・政策学についての極めて高度で体系的な専門知識を修得している（専門知識）						
DP2	問題に対する学術性の高い分析と高度に説得力のある議論を展開する極めて優れた能力を有する（汎用的技能）						
DP3	高い公共意識をもって、法律学・政治学・政策学に関する領域の多様な問題に積極的に取り組む極めて優れた能力を有する（態度・志向性）						
** 必修科目 * 選択必修科目							
授業科目表【2022（令和4）年度】							
授業科目名	単位数	配当年次	資質・能力			測定方法	
			DP1	DP2	DP3		
			◎ 学習効果を上げるために履修することが特に強く求められている科目 ○ 学習効果を上げるために履修することが強く求められている科目				
専門教育科目			直接評価			間接評価	
法律学総合特論**	2	1	◎	○	○	体系的で専門的な知識を問う形式の成績評価 受講生に対するアンケート	
法哲学特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
法哲学特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
法哲学特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
東洋法制史特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
東洋法制史特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
東洋法制史特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	本年度休講
憲法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
憲法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
憲法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
民法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
民法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
民法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
商法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
商法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
商法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
刑法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
刑法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
刑法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
刑事訴訟法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
刑事訴訟法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
刑事訴訟法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
社会保障法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
社会保障法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
社会保障法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
国際法特殊研究A・B	2	1	◎	○	○	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
国際法特殊研究演習A	4	2	○	◎	◎	研究計画の進捗状況を評価 受講生に対するアンケート	
国際法特殊研究演習B	4	3	○	◎	◎	提出された論文を評価 受講生に対するアンケート	
特別研究*	2	1	◎	○	○	体系的で専門的な知識を問う形式の成績評価 受講生に対するアンケート	